

笑顔と感謝 あふれる運動会

10月25日(日)雲一つない秋
晴れの中、朝は肌寒さがありま
したが日中は暖かく最高の
天気恵まれ、大会テーマ「盛
り上げよう 最後まで競い合う
熱い運動会」のもと小川小学校

秋季運動会を開催することができました。本年度は新型コロナウイルス感染症予防のために、地区テントを建てずに立ち見にし、午前中のみの実施とさせていただきました。ご来場も家族のみとさせていただきますこと、ご理解いただき感謝申し上げます。5・6年生のたくましい走りや「ソーラン節」の踊り、3・4年生の鍛え抜かれた「花笠音頭」の踊りと走り、1・2年生のかわいらしい走りやダンス「パプリカ」、今までの練習の成果を十二分に発揮した運動会でした。保護者の皆様には6年生保護者と役員のみなさんに競技に参加いただきました。感謝申し上げます。

開会式の時、「最後まであきらめないで、心ひとつに」ということを言いましたが、子供たち一人一人の一生懸命な姿、全力を尽くす姿、赤白の団長さんを中心に団結し応援している姿に心打たれました。感動しました。学校行事がほとんどなく初めて6年生が最上級生として学校を引っ張る大きな行事でしたが、6年生はもちろんそれぞれの子供たちが運動会に向けて大きく成長したのを感じました。本当に素晴らしい運動会になったと思います。今後は、新たな目標を掲げ、さらに成長してもらいたいと思います。



【開会式】



【応援合戦】



【1・2年ダンス】



【1年 徒走】



【3・4年 花笠音頭】



【4年 徒走】



【5・6年 ソーラン】



【5・6年 リレー】

6年 修学旅行 ～ 平和、そして歴史 ～

11月20日(金)に長崎市内(原爆資料館、平和公園、出島など)、21日(土)には長崎市内(長崎歴史文化博物館、グラバー園)、佐賀(吉野ヶ里遺跡)に行っていました。

1日目、子供たちは原爆資料館を見学した後、被爆体験をされた84歳になられる語り部の下平作江さんのお話をしっかり聞いて、戦争の悲惨さ、原爆の恐ろしさを感じることができました。下平さんからは、「命は地球より重い。核兵器などを使う戦争が二度と起きないようにしてください。永井隆先生がおっしゃっているように、己のごとく人を愛し、人の痛みの分かる心を持ってもらいたい。これからも、しっかり生きて平和のバトンをつないでください。」と言葉をいただきました。自分、友達、家族を大切に、平和な世界を守るとともに周りに広めていくことを心に誓うことができました。

また、さるくガイドさんとグループごとにフィールドワークで原爆落下中心地、浦上天主堂、如己堂、永井隆記念館、平和の泉を見学し、最後に平和公園の平和祈念像前での平和集会で、戦争を絶対にしないことを誓ってしめくくりました。



【原爆資料館】



【語り部の方の講話】



【平和の泉】



【浦上天主堂】



【如己堂】



【平和公園】

2日目、子供たちは、長崎歴史文化博物館へ行き、長崎の歴史について学習を深め、グラバー園では実際に歴史を肌で感じることができました。午後からは、佐賀に移動し、吉野ヶ里遺跡で古代、邪馬台国に思いを馳せながら、広い敷地にいくつもある竪穴式住居、高床式倉庫などを見て回りました。

新型コロナウイルス感染症予防対策をしっかり行いながらの旅行でしたが、天候にも恵まれ、みんな元気に2日間過ごすことができました。この修学旅行が多くの方々のご協力とご支援のおかげで実施することができましたこと、感謝の言葉しかありません。誠にありがとうございました。



【長崎歴史文化博物館】



【グラバー園】



【吉野ヶ里遺跡】